



P R E S S R E L E A S E

* 本リリースは 2014 年 12 月 16 日 (現地時間)に、英国、米国で発表されたプレスリリースを翻訳したものです。

2014 年 12 月 18 日

CSR の DDFA と aptX 技術、コンパクトな Denon の高音質 Hi-Fi 音響システムに採用

～Denon の新製品 PMA-50 が、音楽性豊かな表現力を優美なデザインで提供～

[CSR plc](#) (LSE: CSR; NASDAQ: CSRE) は本日、CSR の [Direct Digital Feedback Amplifier \(DDFA\)™](#) プラットフォームが Denon の新世代 Hi-Fi コンパクト・フルデジタル・プリメインアンプ [PMA-50](#) に搭載されたと発表しました。2015 年 1 月に発売予定のこの製品は、コア技術のひとつに CSR の DDFA を使い、世界先進のサウンドクオリティをコンパクトで優美なデザインの筐体に凝縮しています。また PMA-50 は各種高性能デジタル入力方式に対応しています。例えば、CSR の aptX® Low Latency 低遅延コーデックをサポートしており、視聴者がビデオを視ながらワイヤレスで音声を聴く場合でも、Bluetooth®を介して正確に同期された視聴ができるようになります。

CSRA6601/CSRA6600 チップセットに搭載された DDFA 技術は CSR が特許を有するデジタル・フィードバック技術を基盤とし、すべてのデジタル・クラス D スwitching・アンプにおいて通常そのパフォーマンスを劣化させてしまう悪影響を排除する技術です。DDFA はハイエンド・アンプ向けの高音質を、クラス D アンプならではの高効率でお届けします。今回 DDFA を搭載した PMA-50 は、コンパクトでフレキシブルな製品でありながら、同時に高品質なサウンド環境をリスナーに提供することを実現しています。

PMA-50 は、CSR の Bluetooth 接続と aptX Low Latency にも対応しています。Bluetooth でオーディオ無線伝送を行うには、ビットレート削減を適用する必要があります。aptX のオーディオ・テクノロジーは、圧縮時にもデータが破損しない非破壊型ソリューションを採用することで、Bluetooth の伝送帯域幅でオーディオを確実に伝送します。音声の周波数全体を再現し、Bluetooth 接続で CD と同等の品質の音源を維持できるため、すべてをアーティストが意図した通りに再現することができます。広くタブレットやスマートフォンに aptX 技術の採用が進む中、Denon のような世界の主要 AV 機器メーカーも自社製品にこのテクノロジーを採用し、エンドユーザーに、ワイヤレスオーディオのもたらす快適さを、妥協ない音質で提供しています。

Denon のシニア・プロダクト・マネージャーである、アキム・シュルツ氏はこう述べています。「Denon のお客様は最高の音質と性能を求めています。CSR の DDFA と aptX を搭載したことで、お客様の待ち望んでいた豊かな表現力で音楽に没頭できるような高音質オーディオ環境を整え、同時にその革新的技術により、私たちは最高

の性能をもつ製品をスリムでコンパクトなデザインに凝縮して提供することができました。その意味で、これらの技術を PMA-50 に採用することはとても自然な流れでした。」

Denon の PMA-50 は多くのデジタル入力方式に対応し、音源のデジタル化の潮流に適合しています。PMA-50 のオールデジタル処理アーキテクチャ に DDFA を搭載したことで、デジタル・アナログ変換が不要となり、また、この処理に従来必然的に付随していたパフォーマンスの損失がなくなりました。

CSR のビジネス・グループ担当シニアバイスプレジデントであるアンソニー・マレーは、次のように述べています。「CSR の DDFA プラットフォームおよび aptX コーデックは、ワイヤレス・スピーカ及びワイヤード・アクティブスピーカ、スピーカ・ドックやサウンドバー等も含むさまざまなオーディオ製品間を、一貫した高性能な伝送・処理回路によりつなぎます。Denon がそのハイエンド製品に CSR のプラットフォームの採用を決めたことは、私たちのソリューションが最高の品質を提供できるものであり、また高機能化のための明確な選択であることを証明してくれています。」

DDFA に関する詳細な情報は [CSR DDFA 技術の詳細\(英文\)](#)よりご参照下さい。

###

本プレスリリースは2014年12月16日(現地時間)に、英国、米国発表されたプレスリリースを翻訳したものです。原文は <http://www.csr.com/news/pr/2014/denon-pma-50-ddfa-aptx> をご参照下さい

関連リソース

*関連画像は下記より DL して下さい

PMA-50 製品画像①: (3256KB JBG)

http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/denon_pma-50_horizontal_hr.jpg

PMA-50 製品画像②: (4096KB JPG)

http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/denon_pma-50_vertical_hr.jpg

PMA-50 製品画像③: (1574KB JPG)

http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/denon_pma-50_vertical_hr.jpg

*CSR DDFA の詳細(英語):

[CSR DDFA 技術の詳細\(英文\)](#)

*Denon 社 12/10 発表のプレスリリース

「DSD 5.6 MHz 対応 USB-DAC 搭載新世代フルデジタルプリメインアンプ PMA-50」

http://www.denon.jp/jp/News/Pages/News-Details.aspx?NewsType=company_news&NewsId=360&Year=

*Denon PMA-50 のプレスインフォメーション

http://www.denon.jp/jp/img/PMA-50_Press%20Release.pdf

CSRについて:

CSRは、お客様が世界中のエレクトロニクス市場で成功をおさめるための様々な課題を解決し、変革の核となる技術を提供するため、妥協のない技術革新を進めています(push every boundary™)。ボイス&ミュージック、ドキュメント・イメージング、車載インフォテインメント、Bluetooth(R) Smart、屋内測位システム等の分野を中心に高機能な半導体、ソフトウェア、サービスの開発とそれらの半導体へ集積を進めることで、人々のライフスタイルをより快適なものにし、途切れ目のないスムーズな接続とInternet of Thingsのもたらす真の恩恵を人々にお届けします。詳細については、<http://www.csr.com/japan/> をご覧ください。また、最新の情報は、[テクニカル・ブログ](#)、[担当者ブログ](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも発信しています。CSRの無線オーディオ・コーデックである aptX(R)の詳細については、<http://www.aptx.com/ja> をご覧ください。

Denon について

1910年、業務用録音スタジオ及び放送局向け機器サプライヤとして設立されて以来、Denonは最高級ホームシアター、音響機器及びソフトウェアのメーカーとして世界をリードしています。Denonは、世界で初めてPCMデジタル音響機器を商用化するなど、斬新で先進の製品と、長い歴史の中で培われた革新的な技術で、広く世界に知られています。

Denonのより詳しい情報は <http://www.denon.jp/jp/Pages/Home.aspx> よりご参照下さい

将来予想に関する記述

本プレスリリースには、CSRのDDFA及びaptXテクノロジー、並びにそれらが各種家電等製品(Denon PMA-50デジタル・コンパクトHi-Fiアンプを含む)に搭載された場合に発揮される性能、ならびにその他の将来発生しうる事象、またはそれらがCSRに及ぼす潜在的影響について、過去の事実以外の情報であって、かつ米国の1995年民事証券訴訟改革法(United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において「将来予想に関する記述(forward looking statements)」との解釈が成り立ちうる声明(将来の事業または業績に関する経営陣の計画及び目標に関する所信表明、またはそれらに関する仮定を含む)を含んでいます。これらの予想に関する記述は、上記につき各々「予定である」、「提供できる」、「提供する」、「可能にする」、「強化する」、「実現する」、「設計されている」、あるいはそれらに類似した表現で特定できます。CSRのDDFA及びaptXテクノロジー、並びにこれらの技術を搭載した家電製品(Denon PMA-50デジタル・コンパクトHi-Fiアンプを含む)、周辺機器の性能、機能、または特徴の変更・向上等に際して将来発せられる一連の発表は、そのいずれもがCSRおよびその顧客の継続的評価の対象に服すものであり、実現されるか否かは不確実であり、かつCSRまたはその顧客の確約と見なすことはできず、証券購入の判断に利用するべきではありません。かかる予想に関する記述は、CSRの経営陣の現時点での予想と見解を示すもので、CSRの事業戦略とCSRが事業を行う環境に關与する多数の仮定の上に成り立っているため、未知または既知のリスク、偶発性、不確実性、およびその他要因が複雑に関連し、その多くはCSRによる管理の及ぶ範囲を超える事項に属します。これらの要因の一部は、SECのWebサイト(<http://www.sec.gov>)で公開されているCSRの定期レポート(「Risk Factors(リスク要因)」または「Forward Looking Statements(将来予想に関する記述)」という見出しの下、またはその他の箇所)で詳述されていますが、それらに限定されません。予想に関する各記述は、その日付の時点での記述です。法に定めのある場合を除き、CSRは、ここに記載されている予想に関する記述について更新または改訂があった場合でも、公式にリリースする責任を負いません。

*Bluetooth(R)およびBluetoothロゴは、Bluetooth SIGが所有する商標であり、CSRにライセンスされています。

Wi-Fi(R), Wi-Fi Alliance(R), WMM(R), Wi-Fi Protected Access(R), WPA(R), WPA2(R), Wi-Fi Protected Setup(TM) 及び Wi-Fi Multimedia(TM) はWi-Fi Allianceの登録商標です。

*本文書に記載されているその他の製品、サービス、名称は、該当するそれぞれの所有者の商標である場合があります。

<報道関係お問い合わせ先>

広報代行 株式会社プラップジャパン 谷本

電話:03-4570-3191 E-mail: csr_pr@ml.prap.co.jp

<お客様、ユーザー様お問い合わせ先>

シーエスアール株式会社

深田 学

電話:03-6403-7100 Email: prjp@csr.com